

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-25		学校 高等学校		教科 農業		種目 農業と環境		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	表見返 1-2		世界各地の月別の平均気温平年値と降水量平年値	学習上必要な出典，年次が示されていない。	2-(11)				
2	表見返 2	下段左	FF	誤りである。	3-(1)				
3	表見返 3		日本各地の月別の平均気温平年値と降水量平年値	学習上必要な出典，年次が示されていない。	2-(11)				
4	表見返 4	上段左	[黒ボク土の特徴と分布]肥料のリン酸が吸収されやすい。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (肥料のリン酸が作物に吸収されやすいと誤解する。)	3-(3)				
5	表見返 4	中段左 図	[地目別の分布面積]全体 [中段右図 地目別の分布面積]全体	生徒にとって理解し難い図である。 (図の凡例や出典がないため理解し難い。)	3-(3)				
6	表見返 5	上段右	内えいの指示位置 果皮・種皮の指示位置	誤りである。	3-(1)				
7	表見返 7		[上段左]イネのいもち病 [上段中]メロンのつる割れ病	表記が不統一である。 (他の病名と表記不統一)	3-(4)				
8	表見返 8		[中段左]ダニ類 [中段左]ハダニ [中段中]ハダニ [下段中]ハダニ	不正確である。	3-(1)				
9	表見返 8		[下段右]アブラムシ類を食べるショクガタマバエの幼虫	生徒にとって理解し難い図である。 (どちらが幼虫かの説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
10	表見返 11	上段右 図	[地球温暖化と鶏肉の生産量]全体	学習上必要な出典，年次が示されていない。	2-(11)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-25		学校 高等学校		教科 農業	種目 農業と環境	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	表見返 11	下段左 図	[地球温暖化とリンゴの栽培適地]全体	学習上必要な出典，年次が示されていない。	2-(11)	
12	6	図3	主食となる作物が異なる国や地域の例 アメリカ内陸部・中南米 トウモロコシ作	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (アメリカ内陸部の主食を誤解する。)	3-(3)	
13	6	図3	1a(アール)は1辺が10mの正方形，10m ×10m=1a 1ha(ヘクタール)は1辺が100mの正方形 ，100m×100m=1ha	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (1aと1haが正方形と誤解する。)	3-(3)	
14	7	14	川をせきとめてため池をつくり，	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ため池の作り方を誤解する。)	3-(3)	
15	9	12 - 13	「持続可能な開発のための2030アジェンダ」(SDGs) [50ページ13行]「持続可能な開発のための2030アジェンダ」(SDGs)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (持続可能な開発のための2030アジェンダをSDGsと誤解する。)	3-(3)	
16	18	図1	FFJマーク	相互の関連が適切でない。 (初出にFFJの説明がない。)	2-(12)	
17	27	16 - 18	動植物の遺体などの有機物は，土の中でほとんどが分解されるが，一部はわずかであるが分解されずに土壌有機物(腐植)として土の中にとどまり， [113ページ21～22行]植物体や微生物	不正確である。 (腐植の説明が不正確である。)	3-(1)	
			など生物の遺体が分解されてできた黒色の物質を腐植という。			
18	27	17	土壌有機物(腐植) [113ページ22行]腐植 2か所 [113ページ23行]腐植 [113ページ図12]腐植 2か所 [113ページ図13③]土壌有機物	生徒にとって理解し難い表現である。 (腐植と土壌有機物の違いが理解し難い。)	3-(3)	
			[113ページ図13③と④の間]腐植+母材 [113ページ図13④]土壌有機物 3か所 [114ページ1行]腐植 [114ページ3行]腐植 2か所			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-25		学校 高等学校		教科 農業	種目 農業と環境	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			[114ページ6行]腐植 [114ページ11行]腐植 [114ページ13行]腐植 [114ページ14行]腐植 [114ページ17行]腐植			
			[115ページ18～19行]腐植 [115ページ20行]腐植 [116ページ13行]腐植 [116ページ14行]腐植			
19	29	13	森林の多面的機能 [31ページ21行]森林の公益的機能	生徒にとって理解し難い表現である。 (多面的機能と公益的機能の違いの説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
20	29	図7	保養 2兆2546億円/年 化石燃料代替エネルギー 2261億円/年	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)	
21	31	側注1	松くい虫被害(マツ材線虫病)などが近年めだっている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (松くい虫被害(マツ材線虫病)などの現状を誤解する。)	3-(3)	
22	34	図14	全体	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)	
23	35	7 - 8	さらに、下水道の整備が進んだことから、地下への水の浸透が減少した。	生徒にとって理解し難い表現である。 (下水道の整備が進んだことから、地下への水の浸透が減少したが理解し難い。)	3-(3)	
24	36	図16	[水田 イネ]根の図	誤りである。 (イネの根の図ではない。)	3-(1)	
25	37	5 - 6	水田のもつ貯水機能は、全国のダムの総貯水量の約8倍にも上る。	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)	
26	38	図19	全体	最新のものをを用いておらず、学習上の支障を生ずるおそれがある。	2-(11)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-25		学校 高等学校		教科 農業	種目 農業と環境	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
27	38	図19	[右図 縦軸]窒素・リン酸・カリウム計	誤りである。	3-(1)	
28	39	11 - 12	建物におおわれた土地を建ぺい地といい、建ぺい地でない土地から道路や鉄道などの交通用地を除いた土地を緑地という。	生徒にとって理解し難い表現である。 (都市緑地法の定義と異なり理解し難い。)	3-(3)	
29	41	図24	[蘚苔類]13.3% [両生類]38.1% [汽水・淡水魚類]42.2% [貝類]19.2%	不正確である。	3-(1)	
30	46	19	おんたい	誤りである。	3-(1)	
31	46	図2	寒帯(E) 乾燥帯(B) 無樹林気候の図	生徒が誤解するおそれのある図である。 (寒帯、乾燥帯と無樹林気候との関係を誤解する。)	3-(3)	
32	47	図3	縦軸	通常の方法に従って記載されていない。 (縦軸の説明がない。)	固有 3-(1)	
33	47	表1	[日本]68 [韓国]63 [インドネシア]50	誤りである。	3-(1)	
34	49	17 - 19	水田からのメタンガスの発生や、肥料の多用や農業の不適切な使用は、湖水や河川水、地下水の汚染につながることもある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (水田からのメタンガスの発生が湖水や河川水、地下水の汚染につながるが理解し難い。)	3-(3)	
35	49	図8	全体	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)	
36	50	8 - 9	植物などによる二酸化炭素の固定、つまり農業の役割が重要となる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (農業による二酸化炭素の固定で顕著に低下すると誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-25		学校 高等学校		教科 農業	種目 農業と環境	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
37	52	図11	単収の出典 単収の2010～2015年のデータ	不正確である。	3-(1)	
38	52	図12	乳量の2010～2015年のデータ	不正確である。	3-(1)	
39	53	側注1	コムギでは日本で開発された小麦農林10号という品種がおもに利用された。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (小麦農林10号が栽培されたと誤解する。)	3-(3)	
40	54	13 - 15	有機農産物は、～農薬を使用せず、	不正確である。 (例外規定の説明がない。)	3-(1)	
41	54	19	登録認定機関	誤りである。	3-(1)	
42	54	図16	縦軸	通常の方法に従って記載されていない。 (縦軸の説明がない。)	固有 3-(1)	
43	57	2 - 4	世界の人口は69億3000万人であり、そのうち農業人口は約26億2100万人で、38%を占めている(2010年)。その大部分は、中国やインド、アフリカなどの発展途上国の農家である。	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)	
44	57	5 - 6	日本の総就業人口は6376万人であり、…(2015年)	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)	
45	57	7 - 8	農業就業人口の構成は、65歳以上の高齢者が約68.5%であり、高齢化が進んでいる(図22)。 [図22]全体	相互に矛盾している。 (数値が異なっている。)	3-(1)	
46	57	20 - 21	45年間にその5分の1以上の農地を失っている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (農地の減少について誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

19 枚中 6 枚目

受理番号 102-25		学校 高等学校		教科 農業		種目 農業と環境		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
47	57	図23	縦軸	通常の方法に従って記載されていない。 (縦軸の説明がない。)	固有 3-(1)				
48	58	図24	[樹園地]7% [牧草地]14% 2010年	誤りである。 (7%, 14%, 2010年)	3-(1)				
49	59	2 - 4	日本の農業経営体あたりの経営耕地面積は2.7haとなっており、オーストラリアの3125haやアメリカの176ha、イギリスの92ha、ドイツの59haに比べ、きわめて小さい(2016年)。	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)				
50	59	15 - 16	日本の農業経営の現状は、農家の経営規模の拡大が進む一方で、依然として、自給的農家が多いなどの矛盾がある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (どこが矛盾しているのかが理解し難い。)	3-(3)				
51	59	図26	縦軸	通常の方法に従って記載されていない。 (縦軸の説明がない。)	固有 3-(1)				
52	59	側注1	農業所得を主とする農家 [側注2]農業以外の所得を主とする農家	生徒にとって理解し難い表現である。 (「主とする」の定義があいまいで理解し難い。)	3-(3)				
53	59	表3	[総就業人口の2010年]6257 [総就業人口の2015年]6376 [農業就業人口率の2010年]4.2 [第1種兼業農家の2015年]17	誤りである。	3-(1)				
54	60	図28	農林水産省資料「農地所有適格法人の参入状況」	不正確である。	3-(1)				
55	61	12 - 14	契約栽培や契約出荷を行う農家も増えている。こうした契約によって、農家・企業ともに生産量や経費の安定がはかれるようになった。	生徒にとって理解し難い表現である。 (契約でなぜ生産量の安定するのかおよび何の経費が安定するかが理解し難い。)	3-(3)				
56	61	図29	図全体	誤りである。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-25		学校 高等学校		教科 農業	種目 農業と環境	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
57	61	図31	家計調査	誤りである。	3-(1)	
58	62	図32	全体	不正確である。 (図が出典と異なっている。)	3-(1)	
59	62	図32	2017年11月にアメリカはTPPから離脱した。	誤りである。 (11月)	3-(1)	
60	63	2 - 4	農産物の輸出入が増大した背景には、自国の農産物だけでは自給できず、外国に依存しなければならないことが背景にある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (輸出入が増大と自国の農産物だけでは自給できず、外国に依存するとの関係が理解し難い。)	3-(3)	
61	63	9 - 10	輸出額は、6037億円(2018年)	誤りである。 (6037億円)	3-(1)	
62	64	図35	出典	不正確である。	3-(1)	
63	64	図36	全体	最新のものを用いておらず、学習上の支障を生ずるおそれがあり、また、学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)	
64	65	19 - 20	食の安全・安心や豊かな食生活に矛盾する低い自給率や食品廃棄物の多さなど、	生徒にとって理解し難い表現である。 (どこが矛盾しているかが理解し難い。)	3-(3)	
65	65	図38	2010年のデータ	最新のものを用いておらず、学習上の支障を生ずるおそれがあり、また、学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)	
66	66	2	社会的な機能と役割 [3行]多面的な機能と役割	生徒にとって理解し難い表現である。 (社会的と多面的の違いが理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-25		学校 高等学校		教科 農業	種目 農業と環境	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
67	66	12	農産物の安全性や持続可能性	生徒にとって理解し難い表現である。 (農産物の持続可能性が理解し難い。)	3-(3)	
68	67	側注1	日本の農村は、おもに平地農業地域・中間農業地域・山間農業地域に分けられる。	誤りである。 (日本の農村の分類ではない。)	3-(1)	
69	67	側注2	都市部の児童・生徒が長期間農山村に滞在する農村留学	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (留学について誤解する。)	3-(3)	
70	68	3 - 4	水の浄化やかん養	生徒にとって理解し難い表現である。 (水のかん養の説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
71	68	16 - 17	水田のもつ貯水機能は、全国のダムの総貯水量の約8倍にも上る。	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)	
72	68	側注1	全国に約20万か所あり、その貯水量は約35億m <sup>3</sup> である。仮にこのため池を新たに作るとすると、20兆円以上かかると試算されている。	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)	
73	69	側注2	Educational Scientific	脱字である。	3-(2)	
74	70	図6	大崎耕土 写真	生徒にとって理解し難い表現、写真である。 (大崎耕土の説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
75	71	9 - 10	このような都市緑化のもつ効果はグリーンアメニティなどともいわれている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (都市緑化のもつ効果だけをグリーンアメニティという誤解する。)	3-(3)	
76	71	24 - 26	農家に長期間滞在し、農業体験などを通じて農村の自然・文化・人々との交流をはかるグリーン・ツーリズム	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (農家に長期間滞在しないとグリーン・ツーリズムでない誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-25		学校 高等学校		教科 農業	種目 農業と環境	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
77	73	4 - 5	田園回帰が注目されており、中国地方や九州北部の一部の農村では若い世代の移住が進み、人口増加が起り始めている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (中国地方や九州北部の一部だけと誤解する。)	3-(3)	
78	74	側注2	人口100万人の平均的な都市は、都会的生活を維持するために、毎日2,000tの食料と、625,000tの上水と、9,500tの燃料を必要とするという試算もある。	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)	
79	74	図1	全体	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)	
80	75	3 - 5	原油の99.7%、天然ガスの97.4%、石炭の99.3%は、海外から輸入している(2016年)。	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)	
81	75	14 - 15	バイオマスは、植物の光合成によって作り出される有機性資源であり、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (バイオマスについて誤解する。)	3-(3)	
82	75	側注3	バイオマス資源の推定量は、年間約4600万kL(原油換算)で年間供給量の約7%に相当するという試算がある。	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(11)	
83	76	やってみよう	現在、1年間に世界中で生産される食料は、穀物が約22億t、肉類が約2億t、漁獲量が約1億tといわれている。	最新のものをを用いておらず、学習上の支障を生ずるおそれがあり、また、学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(11)	
84	76	調べてみよう	天敵を誘引する酵素の働き	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	
85	78	側注1	国連食糧農業機関(FAO)は、「二千年も三千年も続いてきたという意味では、農業は持続的といえる。しかし、これからの農業は、環境保全的であると同時に、増加する人口が求めている食	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	
			料や資材を必要だけ供給できる生産力をもったものでなければならない」と指摘している(1989年)。			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-25		学校 高等学校		教科 農業	種目 農業と環境	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
86	79	2	原料さえ投入すればそれのみあった生産が可能な工業	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (工業を誤解する。)	3-(3)	
87	81	8	無農薬・無化学肥料栽培 [9行]減農薬・減化学肥料栽培	誤りである。 (無農薬, 無化学肥料, 減農薬, 減化学肥料)	3-(1)	
88	81	11 - 14	たい肥の適正量を守り, 化学肥料・農薬の使用量の低減など環境に配慮した農業を実施し, 消費者の求めるより安全・安心な農産物供給につとめている各都道府県で認定された農業者がエコ	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (エコファーマーについて誤解する。)	3-(3)	
			ファーマーである。			
89	81	15 - 16	有機JAS認定	誤記である。 (認定)	3-(2)	
90	81	側注2	2001年に制定。	不正確である。 (2001年に制定。)	3-(1)	
91	82	6 - 7	農業に従事している人は, 総人口のわずか2.6%しかおらず,	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(11)	
92	82	6 - 8	農業に従事している人は, …そのうちの約68%が65歳以上の高齢者である(図9)。	誤りである。 (68%)	3-(1)	
93	82	9 - 10	耕作放棄地の増加は, 生物多様性を低下させる原因にもなっている。	生徒にとって理解し難い表現である。 (耕作放棄地の増加と生物多様性を低下の関係が理解し難い。)	3-(3)	
94	82	図9	2014年のデータ	最新のものをを用いておらず, 学習上の支障を生ずるおそれがある。	2-(11)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

19 枚中 11 枚目

受理番号 102-25		学校 高等学校		教科 農業		種目 農業と環境		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
95	83	図10	全体	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)				
96	85	図12	農林水産省「食品ロス統計調査」	誤りである。	3-(1)				
97	87	14	こども農山漁村交流プロジェクト	誤記である。 (こども)	3-(2)				
98	87	側注2	農林水産省、文部科学省、総務省が連携して、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (農林水産省、文部科学省、総務省だけが連携していると誤解する。)	3-(3)				
99	90	9 - 10	世界で栽培されている作物は2,500種類ほどで、そのうち日本ではおおよそ500種類が栽培されている。	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)				
100	96	図5	[蒸散]気孔から水分を蒸発	誤りである。	3-(1)				
101	96	図5	[呼吸]水→二酸化炭素	生徒にとって理解し難い図である。	3-(3)				
102	97	2	萌芽 [201ページ13行]ほう芽	表記が不統一である。	3-(4)				
103	97	3	イネやチューリップなど、秋にたねや球根などができる作物	誤りである。 (チューリップ、秋に球根ができる作物)	3-(1)				
104	100	19 - 22	低温に一定期間さらされることによって休眠が解除され、種子の発芽、球根や枝の萌芽が起こり、開花するようになることを春化(バーナリゼーション)という。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (休眠と春化の関係について誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

19 枚中 12 枚目

受理番号 102-25		学校 高等学校		教科 農業		種目 農業と環境		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
105	102	2 - 9	受粉・受精のしくみ 開花して～重複受精という(図18)。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全ての植物で重複受精すると誤解する。)	3-(3)				
106	102	側注1	セイヨウオオハナマルバチ	誤記である。	3-(2)				
107	102	側注1	外来生物である訪花昆虫を利用する場合は、生態系に影響しないように、施設の外に出さないようにする。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (施設の外に出さないようにするだけでよいと誤解する。)	3-(3)				
108	103	31	CA貯蔵	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
109	104	22 - 23	作物の増殖、のウイルスに	誤記である。	3-(2)				
110	105	調べてみよう	現在、日本において、遺伝子組換えにより改良された作物は、生産目的で栽培されていない。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (遺伝子組換えにより改良された作物について誤解する。)	3-(3)				
111	113	図12	量の目安 含有量	誤りである。 (%を量、含有量と記載すること。)	3-(1)				
112	116	6 - 7	多くの作物での適正な土のpHは6.0～6.5の弱酸性である(表1)。 [表1]全体	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)				
113	117	6	病原体や害虫が存在せず、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (病原体や害虫が全くいないことが必要と誤解する。)	3-(3)				
114	119	図21	[図横軸]養分供給量 5. 過繁茂の状態、病虫害の被害も多くなり、収量は減少する。 [図タイトル]養分供給量と収量	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全ての養分で同様の関係があると誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

19 枚中 13 枚目

受理番号 102-25		学校 高等学校		教科 農業		種目 農業と環境		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
115	120	10	表7	誤記である。	3-(2)				
116	121	29	その多くが作物の生育にとって有用なものである。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ほとんどが有用なものと誤解する。)	3-(3)				
117	121	図22	全体	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)				
118	122	11	伝染性病害の病原は細菌やウイルスなどであり、 [123ページ2行]作物の病原体には、菌類、細菌、ウイルスなどがある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (伝染性病害の病原と作物の病原体の記載が異なり理解し難い。)	3-(3)				
119	123	16	薬剤(殺菌剤など)	生徒にとって理解し難い表現である。 (薬剤と農薬との違いが理解し難い。)	3-(3)				
120	123	コラム	効果が高い農薬であればあるほど、このような抵抗性の発達は速く進む傾向がある。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全ての農薬で成り立つ関係と誤解する。)	3-(3)				
121	124	表4	全体	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)				
122	125	表5	シロザ(アカザ科)	誤りである。 (アカザ科)	3-(1)				
123	126	8	害鳥獣	脱字である。	3-(2)				
124	127	19 - 21	IPMは、環境に配慮し、薬剤の使用を必要最低限におさえ、安全な収穫物を得るための作物保護の手法である	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (IPMについて誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

19 枚中 14 枚目

受理番号 102-25		学校 高等学校		教科 農業		種目 農業と環境		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
125	129	10	ニワトリの生産は、卵の生産(採卵鶏)と肉の生産(ブロイラー)	不正確である。 (ブロイラー)	3-(1)				
126	130	図2	性成熟の月齢	生徒にとって理解し難い図である。 ([129ページ17行]「生後8か月頃で最初の交配」と異なり理解し難い。)	3-(3)				
127	131	22	単胃動物では利用できないセルロースを分解し、 [223ページ7行]単胃動物では利用できないセルロースを分解し、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (セルロースだけと誤解する。)	3-(3)				
128	131	図5	全体	最新のものをを用いておらず、学習上の支障を生ずるおそれがある。	2-(11)				
129	132	表1	[家畜(品種)]ブタ(子豚) ブタ(成豚)	誤りである。 (子豚、成豚は品種ではない。)	3-(1)				
130	134	側注2	作物や野菜、果樹などの栽培	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (野菜と果樹が作物でない誤解する。)	3-(3)				
131	135	図16	全体	最新のものをを用いておらず、学習上の支障を生ずるおそれがある。	2-(11)				
132	140	図2	[④改善]次の作付けに役立つ	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (作付けだけと誤解する。)	3-(3)				
133	144	8 - 10	アジアイネの原産地は、インド東部、ミャンマー、ラオス、タイ北部から中国雲南省にかけての山岳地帯、および長江の中～下流域と推定され、	一面的な見解を十分な配慮なく取り上げている。	2-(6)				
134	150	10 - 11	10aあたり100kgの玄米を生産するためには、おおよそ、窒素2.5kg、リン酸1.0kg、カリ2.3kgを必要とする。	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

19 枚中 15 枚目

受理番号 102-25		学校 高等学校		教科 農業		種目 農業と環境		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
135	150	図11	施した肥料はすべて作物には吸収されない	誤りである。	3-(1)				
136	152	6	葉から水分が蒸発	誤りである。 (蒸発)	3-(1)				
137	152	18 - 20	低温が予想される場合には、穂ばらみ期から出穂・開花の期間は10cmくらいの深水にして、水の保温力を利用した管理をする。	不正確である。 (深水の時期と水深)	3-(1)				
138	153	観察	穂肥の時期は、幼穂長が1~2mmの頃がえい花分化期で効果的である。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文章として理解し難い。)	3-(3)				
139	155	表4	全体	生徒にとって理解し難い表現である。 (表とその注の関係が理解し難い。)	3-(3)				
140	156	9 - 12	トウモロコシは、…、生産量はイネ、コムギに比べはるかに多い。世界の生産量は、アメリカ合衆国が4割程度を占め、ついで中国が多い。	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(11)				
141	156	13 - 14	トウモロコシは、子実の形と胚乳に含まれるデンプンの性質によって、…分けられる	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (分ける基準を誤解する。)	3-(3)				
142	157	23	絹糸は、雌しべの花柱である [158ページ図6]絹糸(柱頭)	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が異なり理解し難い。)	3-(3)				
143	157	側注1	受精を繰り返した純系	誤りである。 (受精)	3-(1)				
144	160	表2	全体	最新のものをを用いておらず、学習上の支障を生ずるおそれがある。	2-(11)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-25		学校 高等学校		教科 農業	種目 農業と環境	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
145	161	側注2	カブラヤガやヨトウガなどの幼虫で苗を食害とするものを総称してネキリムシという。	誤りである。 (ヨトウガ)	3-(1)	
146	161	実習	[中央図]10分の6 10とする	生徒にとって理解し難い表現である。 (10分の6と10の関係が理解し難い。)	3-(3)	
147	162	コラム	オキサロ酢酸がきでるため	誤記である。	3-(2)	
148	166	調べてみよう	枝豆	表記が不統一である。 ([166ページ13行]エダマメと表記が不統一)	3-(4)	
149	170	17 - 18	設備が整えば味噌や醤油の加工をしてもおもしろい。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (味噌の加工に設備が必要と誤解する。)	3-(3)	
150	176	図8	株の位置	生徒にとって理解し難い図である。 (うねの中央に株がなく理解し難い。)	3-(3)	
151	180	表1	◎ ○ホルモン処理	誤りである。 (開花とホルモン処理の時期)	3-(1)	
152	182	4 - 5	葉と花の発生位置は約90度ずつずれている	不正確である。	3-(1)	
153	184	調べてみよう	生理傷害	誤記である。	3-(2)	
154	184	表3	品種名 黄色種 桃色種 紅色種	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (品種名と誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

19 枚中 17 枚目

受理番号 102-25		学校 高等学校		教科 農業		種目 農業と環境		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
155	190	18	外葉期と結球期のおおよそをつかむ。	生徒にとって理解し難い表現である。 (外葉期と結球期のおおよそをつかむが理解し難い。)	3-(3)				
156	192	19 - 20	葉が3~4枚になる頃、胚軸部から表皮に裂け目ができて脱皮する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (植物が脱皮することが理解し難い。)	3-(3)				
157	193	図2	[左図]左下の破線で囲まれた図からの矢印 その矢印が指示する両矢印	生徒にとって理解し難い図である。	3-(3)				
158	194	図4	岩国赤大根の写真	誤りである。	3-(1)				
159	198	17 - 20	収穫期のめやすは、外側の葉と中心部の葉の先端が横からみて一直線になり、葉のつけ根を頂点としたとき、頂角が120度の三角形になる頃である(図12)。	生徒にとって理解し難い表現、図である。 (図12で外側の葉と中心部の葉の先端が横からみて一直線になっていないため理解し難い。)	3-(3)				
			[図12]全体						
160	200	図1	頂芽部	表記が不統一である。 ([203ページ図6]頂部と表記が不統一)	3-(4)				
161	202	8	除茎	相互の関連が適切でない。 (初出に除茎の説明がない。)	2-(12)				
162	203	調べてみよう	ジャガイモの塊茎の芽を上からみると137° になっている。	生徒にとって理解し難い表現である。 (どこの角度かが理解し難い。)	3-(3)				
163	205	図10	[ジャガイモの貯蔵]種子用	生徒にとって理解し難い表現である。 (ジャガイモの種子が理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

19 枚中 18 枚目

受理番号 102-25		学校 高等学校		教科 農業		種目 農業と環境		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
164	208	26	幼苗は性質が弱く,	生徒にとって理解し難い表現である。 (幼苗は性質が弱くが理解し難い。)	3-(3)				
165	212	図1	全体	最新のものを用いておらず, 学習上の支障を生ずるおそれがあり, また, 学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(11)				
166	217	表2	全体 [表3]全体 [表4]全体	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(10)				
167	218	22	よい卵は, 卵重55～56gで,	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (他の卵重の卵は良くないと誤解する。)	3-(3)				
168	220	図14	全体	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(10)				
169	221	図16	全体	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)				
170	222	図17	写真	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
171	223	図1	[左図]誕生 2か月 育成 12～14か月 [224ページ4～5行]14～16か月齢前後に繁殖(交配)	生徒にとって理解し難い表現である。 ([129ページ24行]「生後14～15か月」と異なり理解し難い。)	3-(3)				
172	223	図1	[右図]搾乳できる期間(280～300日) 乾乳期(60～90日) 約40日 人工授精 妊娠 約10か月	生徒にとって理解し難い図である。 (日数が異なるのに図の始点と終点が同じことが理解し難い。)	3-(3)				
173	223	図1	[右図]妊娠 約10か月	生徒にとって理解し難い表現である。 ([224ページ2行目]「約280日の妊娠期間」と異なり理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

19 枚中 19 枚目

受理番号 102-25		学校 高等学校		教科 農業		種目 農業と環境		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
174	227	側注2	全泌乳期間から初乳期と末期を除いた期間に生産される販売可能な牛乳	生徒が誤解するおそれのある表現である。(末期に生産されたものが販売できないと誤解する。)	3-(3)				
175	227	表1	全体	学習上必要な出典，年次が示されていない。	2-(10)				
176	232	17 - 18	一般には春にまくことが多い。 [側注1]苗木生産者は，とりまきといって，採取したたねを保湿貯蔵せずに苗畑やポットにまきつけることが多い。	相互に矛盾している。 (まきつけることが多い季節が異なっている。)	3-(1)				
177	237	23	作物に活性を与え，増収につながる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。(必ず作物に活性を与え，増収につながると誤解する。)	3-(3)				
178	244	図7	エディブルフラワー	脱字である。	3-(2)				
179	246	17 - 18	常緑キリンソウ	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
180	246	図2	屋上緑化の方法	生徒が誤解するおそれのある表現である。(図の各層の深さが屋上緑化には不可欠と誤解する。)	3-(3)				
181	248	9 - 10	海水とともに魚介類を採取するなど，水産用水としても利用している。	生徒が誤解するおそれのある表現である。(海水は魚介類と同時に採取していると誤解する。)	3-(3)				
182	253	18	クライメイト	誤記である。	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

11 枚中 1 枚目

受理番号 102-26		学校 高等学校		教科 農業		種目 農業と情報		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	表見返 1	中段左	深層学習	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
2	表見返 2	中段右	子機システム RFID	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
3	12	側注①	倫理・道徳のことで、良識ともいう。 ルールやマナーを守る「心」のこと。 7-8行 他人に迷惑をかけないようにモラル① やルール②を守り、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (モラルが「心」の内面の問題であり、ルールがモラルに含まれるかのように誤解する。)	3-(3)				
4	15	24 - 25	SNSの場合、相手がみず知らずの他人 であり、感情的になりやすい。	生徒にとって理解し難い表現である。 (相手がみず知らずの他人の場合、なぜ感情的になりやすいのか理解し難い。)	3-(3)				
5	17	表2	意匠権 保護期間 設定された登録日から最大20年	誤りである。	3-(1)				
6	18	11 - 12	著作物を利用したいときには、必ず著 作者から使用の許可を得なければなら ない。	不正確である。 (著作権法では例外規定があり必ず著作者からの使 用の許可を得なければならないわけではない。)	3-(1)				
7	22	17 - 18	センサとバルブのデータは、インター ネット上のクラウドで処理され、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (米づくりの省力化は必ずインターネット上のクラ ウドで処理されるものであると誤解する。)	3-(3)				
8	24	図6	トマトの収量予測	生徒にとって理解し難い表現である。 (19-21行の「収集されたデータは、傾向や特異点が わかりにくいので、処理した結果をグラフなどに変 換し、人がみて判断しやすいように可視化する(図6 )。 」から収量予測ということが理解し難い。)	3-(3)				
9	29	32	ディスプレイ テレビと同様に、液晶 型と有機EL型がある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのような点がテレビと同様であるのか理解し難 い。)	3-(3)				
10	31	13	VBA	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

11 枚中 2 枚目

受理番号 102-26		学校 高等学校		教科 農業		種目 農業と情報		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	32	図11	作物 紅あかね	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
12	32	図11	機材 クボタ (CH-1200FVM)	特定の営利企業、商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
13	32	図11	メモ 保状	誤記である。	3-(2)				
14	33	14 - 15	ファイルを効率よく管理するためのファイルシステムとよばれるソフトウェアが用意されている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (図12のようなファイルブラウザをファイルシステムであると誤解する。)	3-(3)				
15	33	図12	「農産物売上」のファイルは、Eドライブの「農業と情報」フォルダ内にあるため、このファイルのパスは「E:¥農業と情報¥3章」と示される。	不正確である。 (格納フォルダとパス)	3-(1)				
16	33	図12	Windows	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
17	35	側注①	JPG JPEG	表記が不統一である。	3-(4)				
18	37	3 - 4	数値情報や文字情報を合わせてテキスト情報という。	不正確である。 (数値情報と文字情報を混同している。)	3-(1)				
19	37	側注①	Uniコード	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (英カナ交じり表記が一般的な表記と誤解する。)	3-(3)				
20	37	図9	JISコード表	不正確である。 (JISコード表全体ではない。)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

11 枚中 3 枚目

受理番号 102-26		学校 高等学校		教科 農業		種目 農業と情報		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
21	39	5 - 6	グレースケール …1画素あたり8ビット (2 <sup>8</sup> =256) 256段階の濃淡を表現できる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (グレースケールは8ビットで濃淡を表現するだけのもののみであると誤解する。)	3-(3)				
22	41	9	クライアントサーバシステム (CCS)	不正確である。 (CCS)	3-(1)				
23	41	図1	上枠下 LAN クライアントサーバシステム	生徒が誤解するおそれのある図である。 (クライアントサーバシステムはLANの内側にしか存在しないかのように誤解する。)	3-(3)				
24	44	図1	210.170.105.222	生徒にとって理解し難い表現である。 (例示として理解し難い。)	3-(3)				
25	44	図1	自宅のパソコン 192.168.1.2 192.168.1.3 PC室Aのパソコン 192.168.1.2 192.168.1.3 12-13行	相互に矛盾している。	3-(1)				
			それぞれのコンピュータにIPアドレスという固有の番号をつけて、						
26	46	13	222.200.113.155	生徒にとって理解し難い表現である。 (例示として理解し難い。)	3-(3)				
27	47	側注③	Electronic Commerce site。 電子商取引のこと。	相互に矛盾している。	3-(1)				
28	54	表1	WYK 搾取	誤記である。	3-(2)				
29	54	図2	全体	生徒にとって理解し難い図である。 (どのような通信をおこなう状況であるのか、また公開鍵①と下の人物の公開鍵と同一かどうか理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-26		学校 高等学校		教科 農業	種目 農業と情報	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
30	65	12	発芽の最低気温は6～10℃，最適温度は32～36℃である。	生徒にとって理解し難い表現である。 (気温と温度の違いが理解し難い。)	3-(3)	
31	65	13	トウモロコシは本来，短日植物であるが，	生徒にとって理解し難い表現である。 (「本来」が理解し難い。)	3-(3)	
32	66	下囲み	明治43年(1910年)に創立され，今年度で創立110周年を迎える 1期日 11月23日(水)	相互に矛盾している。 (水)	3-(1)	
33	69	練習7	米の作付面積 2か所	誤りである。 (米は作物名ではない。)	3-(1)	
34	75	側注①	文字列として入力された数値は，左詰めで入力され，	不正確である。 (左詰めで入力)	3-(1)	
35	75	側注⑤	計算に使用したセルが基点から左右上下にどれくらい離れているかで示された関係。相対参照という。	生徒にとって理解し難い表現である。 (なにを基準にどれくらい離れているか理解し難い。)	3-(3)	
36	76	12 - 13	A列を「17」，B列からE列を「9」に設定する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (17及び9の数値の意味)	3-(3)	
37	80	側注②	式に入力される値のこと。引数(ひきすう)とよぶ。	不正確である。 (式は関数のみで構成されているわけではない。)	3-(1)	
38	81	側注①	文字データから種類の数を求めるには，COUNTA関数を用いる。	不正確である。 (COUNTA関数の仕様)	3-(1)	
39	82	16	小数点の桁位置を丸める関数として，	不正確である。 (小数点の桁位置)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-26		学校 高等学校		教科 農業	種目 農業と情報	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
40	83	5 - 6	多い順であれば0を, 少ない順であれば1を入力する。 側注① 大きい順を降順, 小さい順を昇順という。	表記が不統一である。	3-(4)	
41	91	側注①	Structured Query Languageの略。	不正確である。 (SQLは略称ではない。)	3-(1)	
42	91	図2	アボカ ウルシ 図3 アボカド ウルシ科 92ページ図4 アボカド	誤りである。	3-(1)	
			ウルシ科 2か所 93ページ図6 アボカド ウルシ科 94ページ図7 アボカド ウルシ科			
			95ページ 中央表 アボカド ウルシ科			
43	92	図4	操作前の左テーブルと右テーブル	不正確である。 (正規化されておらず不具合が生ずる場合がある。)	3-(1)	
44	93	側注①	左寄せで入力される。 ②右寄せで入力される。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (左寄せあるいは右寄せで入力しなければならないと誤解する。)	3-(3)	
45	95	3 - 4	SELECT 果樹名, 科名 FROM 果樹管理表 A WHERE 科名='バラ科' 及び上表	不正確である。 (射影の例として不適切である。)	3-(1)	
46	95	12 - 13	WHERE 果樹管理表A=果樹ID, 果樹管理 表B=果樹ID AND 場所=南農園 17-18行 WHERE 果樹管理表A=果樹ID, 果樹管理 表B=果樹ID AND 場所=南農園 …	誤りである。 (SQLの文法によっていない。)	3-(1)	
47	97	図9	図縦軸	不正確である。 (縦軸の説明と単位がない。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

11 枚中 6 枚目

受理番号 102-26		学校 高等学校		教科 農業		種目 農業と情報		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
48	97	図10	図縦軸	不正確である。 (縦軸の説明と単位がない。)	3-(1)				
49	97	表2	全体	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)				
50	97	表2	生産額ベース 2005 69	誤りである。	3-(1)				
51	97	表3	全体	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)				
52	97	表3	kg/人・年	誤りである。	3-(1)				
53	98	6	1974年から運用を開始し、	不正確である。 (運用開始年)	3-(1)				
54	99	表4	ブロッコリーの値 図15 ブロッコリーの値	誤りである。	3-(1)				
55	101	15	円周上のある一つの点と、直径となる点を指定する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (直径となる点)	3-(3)				
56	103	側注④	モノクロ写真は266dpi, 189ページ側注③ モノクロ写真は266dpi,	不正確である。 (モノクロ写真(グレースケール)の場合の方がカラー写真よりも高い解像度を求められる。)	3-(1)				
57	104	12 - 13	極太線の曲線で、郵便局から農業高校までの道路をかく。	生徒にとって理解し難い表現である。 (極太線の曲線)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-26		学校 高等学校		教科 農業	種目 農業と情報	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
58	107	側注①	Infrastructure …などの基盤整備のこと。	不正確である。 (基盤整備)	3-(1)	
59	108	側注①	縦方向の回転をチルト，横方向の回転をパンという。	生徒にとって理解し難い表現である。 (13行「上下左右の回転」と縦方向，横方向の回転の関係が理解し難い。)	3-(3)	
60	115	図6	表の値 図の値	相互に矛盾している。 (表の値と図の値が異なっている。)	3-(1)	
61	117	図11	動作 意志	誤記である。	3-(2)	
62	118	側注①	HTML (…) の後継の言語と位置づけられている。	不正確である。 (後継の言語)	3-(1)	
63	119	図2	トップページ 3-4行 ホームページ	表記が不統一である。	3-(4)	
64	125	10	文字の大きさをかえたい場合には， <hn>～</hn>を使う。 中図右 <font size="6">県立農業高校へようこそ</font>	相互に矛盾している。	3-(1)	
65	125	中図右	"image/kouka.wma." 下図右" "image/kouka.wma.txt"	誤りである。 (拡張子)	3-(1)	
66	126	側注②	ネットワークを利用する権利のこと。 通常は，ユーザ名やパスワードを登録することで得られる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (ネットワークを利用する権利)	3-(3)	
67	127	側注②	(W3C) が，1996年に提唱した。	不正確である。 (提唱)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

11 枚中 8 枚目

受理番号 102-26		学校 高等学校		教科 農業		種目 農業と情報		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
68	130	図3	右図右上 海面上昇 右図右下 大雨・洪水 海面上昇	生徒にとって理解し難い表である。 (海面上昇の原因が異なるかどうか理解し難い。)	3-(3)				
69	132	16	問題の解決策を実施し、実施した結果 と解決策を比較し評価する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (解決策がどの時点のものであるか理解し難い。)	3-(3)				
70	134	図1	路地栽培技術	誤記である。	3-(2)				
71	135	図2	もみ収量 (kg/10a) 500未満 500以上550未満 550以上600未満 600以上650未満	生徒にとって理解し難い表現である。 (650以上の場合が定義されておらず理解し難い。)	3-(3)				
72	144	上図	A12 せき上水深 147ページ数 A12 せき上水深 142ページ8行 越流水深	表記が不統一である。	3-(4)				
73	144	図2	フローチャート 上から2, 3番目の枠 水田面積[a]を…へ出力 減水深…へ出力	不正確である。 (流れ図記号についてデータを入出力する表記ではない。)	3-(1)				
74	145	図5	型宣言 H1 QG	不正確である。 (全用水量計算モジュールのフローチャートでは使 用されていない。)	3-(1)				
75	145	図5	J 型宣言 (ループ) j=1 To 7 他	表記が不統一である。	3-(4)				
76	148	図8	コーディング例 全体	不正確である。 (145ページ図5及び146ページ図6のモジュール設計 と対応していない。)	3-(1)				
77	151	図3	デジタル量 横軸 時間	生徒にとって理解し難い図である。 (時間間隔が一定でない理由が理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

11 枚中 9 枚目

受理番号 102-26		学校 高等学校		教科 農業		種目 農業と情報		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
78	151	図4	A/D変換器 横軸 0 128 256 右表 デジタル量 1 2 3 … 128 … 256	不正確である。 (分解能8bitのA/D変換器としての範囲が不正確である。)	3-(1)				
79	154	6	稲の成熟期	不正確である。 (稲は作物名表記として不正確である。)	3-(1)				
80	154	図4	てん菜	不正確である。 (てん菜は作物名表記として不正確である。)	3-(1)				
81	154	図5	小麦 2か所	不正確である。 (小麦は作物名表記として不正確である。)	3-(1)				
82	158	5 - 6	人工知能 (AI) とは、人の脳の働きを模したコンピュータのシステムのことである。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (すべてのAIアルゴリズムが人の脳の働きを模したものであると誤解する。)	3-(3)				
83	164	21	クラウド型農作業の自動記録分析サービス	生徒にとって理解し難い表現である。 (クラウド型農作業)	3-(3)				
84	169	図4	出荷実績集計 品種 クインシー	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
85	169	図4	集団・個人の出荷成績分析 品種 アンデス	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
86	177	図3	全体	生徒が誤解するおそれのある図である。 (HACCPについて誤解する。)	3-(3)				
87	179	10	GLOBAL GAP	誤りである。 (正式表記ではない。)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-26		学校 高等学校		教科 農業	種目 農業と情報	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
88	179	図5	HACCP 危害を予測し、	表記が不統一である。 (15-16行の「危害要因を予測・分析し」と表記が不統一)	3-(4)	
89	180	側注2	Indications	誤記である。	3-(2)	
90	186	側注①	データを時系列の折れ線グラフで示すときに、時間軸が均等になる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (時間軸が均等)	3-(3)	
91	189	側注②	文字データは.txt, .rif, .csv形式など、画像ファイルは.pdf, .eps, .tif, .jpg, .png形式など。	不正確である。 (テキストファイル形式の注として不正確である。)	3-(1)	
92	189	図9	イントラネット	生徒にとって理解し難い表現である。 (イントラネットの説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
93	196	16	折れ線グラフ (→p. 89)	不正確である。 (89ページにない。)	3-(1)	
94	199	側注①	中心極限定理の説明 (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (母平均 ( $\mu$ ), 確率分布は期待値 $\mu$ , 正規分布で近似, などの表現が理解し難い。)	3-(3)	
95	199	側注	VAR. P (No. 1, …No. 7) STDEV. P (No. 1…No. 7)	表記が不統一である。 (引数の表記)	3-(4)	
96	200	側注②	ピアソンの積率相関係数 r の説明 (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 ( $r_{xy}$ , $\Sigma$ の表記法, 共分散, $\bar{x} \cdot \bar{y}$ , などの表現が理解し難い。)	3-(3)	
97	201	10	①確かめたい仮説Aを設定する。 側注① 帰無仮説 ( $H_0$ ) ともいう。 17行, 23-24行 確かめたい仮説 (帰無仮説 ( $H_0$ ))	誤りである。 (確かめたい仮説)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

11 枚中 11 枚目

受理番号 102-26		学校 高等学校		教科 農業		種目 農業と情報		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
98	201	12	②確かめたい仮説を否定した仮説Bを設定する。 側注② 対立仮説 (H <sub>1</sub> ) ともいう。	誤りである。 (確かめたい仮説を否定した仮説)	3-(1)				
99	201	14 - 15	基準の確率 (通常, 5%か1%) を設定する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのような場合に5%か1%に設定するのか理解し難い。)	3-(3)				
100	201	17 - 20	確かめたい仮説 (帰無仮説 (H <sub>0</sub> )) を否定した仮説 (対立仮説 (H <sub>1</sub> )) で確認することである。つまり, 否定した仮説が否定されると, もとの確かめたい仮説が正しいことになる。	不正確である。 (帰無仮説と対立仮説の関係)	3-(1)				
101	201	21 - 25	対立仮説 (… ) が有意水準 (… ) の確率を上回れば (… ) , 確かめたい仮説 (帰無仮説 (H <sub>0</sub> )) を採用することになる。一方, 対立仮説 (… ) が有意水準の確率を下回れば (… ) , 確かめ	誤りである。	3-(1)				
			たい仮説 (帰無仮説 (H <sub>0</sub> )) は棄却される (… ) ことになる。						
102	201	26 - 27	検定では, 5%未満とはいえ間違いをおかす危険性があることを忘れてはならない。	生徒にとって理解し難い表現である。 (過誤の説明として理解し難い。)	3-(3)				
103	204	中段	cording	誤記である。	3-(2)				
104	裏見返 5	中段	不満 5	誤植である。	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-27		学校 高等学校		教科 農業		種目 植物バイオテクノロジー		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	2	21 - 23	[左段]微生物の働きによってつくられるアルコール飲料, 発酵食品, パンの生産など	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (アルコール飲料, 発酵食品, パンの関係を誤解する。)	3-(3)				
2	9	16	遺伝子組換え(→p. 158)	不正確である。 (→p. 158)	3-(1)				
3	9	図1	[遺伝子組換え]全体	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (白いバラに組み込んだと誤解する。)	3-(3)				
4	9	側注4	目的の遺伝子を, 対象とする細胞に導入する技術。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (細胞に導入するだけでよいと誤解する。)	3-(3)				
5	11	図6	トマト × ペピーノ	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (交雑したと誤解する。)	3-(3)				
6	15	図5	農業 畜産	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (畜産が農業に含まれないと誤解する。)	3-(3)				
7	17	3 - 5	人間のさまざまな活動による雑排水などが湖沼や地下水に流れ込むと, 富栄養化する。その結果, シアノバクテリアが湖沼などで異常に増殖し, 農業・工業・生活用水の質を低下させる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (シアノバクテリアが異常繁殖しないと, 農業・工業・生活用水の質が低下しないと誤解する。)	3-(3)				
8	18	2 - 4	日本で飼育されるウシ, ブタ, ニワトリは, 輸入された飼料(トウモロコシなど)で育てられている場合が多く, し尿の処理が問題となっている。	生徒にとって理解し難い表現である。 (輸入された飼料で育てられていることがし尿の処理の問題となることが理解し難い。)	3-(3)				
9	18	4 - 7	し尿の一部は堆肥として使われているが, 農地面積が狭い日本では全部のし尿を堆肥として処理することができないため, 河川に流れ込んだし尿に由来する窒素成分やリン酸成分が富栄養化	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (農地面積が狭いことがし尿を堆肥として処理できない原因と誤解する。堆肥として処理することができなかったし尿に由来する窒素成分やリン酸成分だけが富栄養化の原因と誤解する。)	3-(3)				
			の原因になっている。						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-27		学校 高等学校		教科 農業	種目 植物バイオテクノロジー	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	27	12 - 13	おもな細胞小器官には、核、色素体(葉緑体)、ミトコンドリア、ゴルジ体、リボソーム、液胞などがある。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (おもな細胞小器官について誤解する。)	3-(3)	
11	27	話し合 ってみ よう	動物細胞が細胞壁を必要としない	生徒にとって理解し難い表現である。 (動物細胞が細胞壁を必要としないという意思があるような記載が理解し難い。)	3-(3)	
12	30	6 - 7	からだのある部分が新たな組織や器官をつくり出すことを分化という。 [31ページ13～14行]カルスから再び器官や植物体が形成されることを、再分化とよぶ。	生徒にとって理解し難い表現である。 (分化と再分化の違いが理解し難い。)	3-(3)	
			[63ページ17行]不定芽の分化 [63ページ18～19行]カルスのまま増殖するが、植物ホルモンの条件を変化させると、不定胚や不定芽、不定根などを分化する			
13	32	3 - 4	植物ホルモンは、植物自身が体内でつくっている物質であり、 [56ページ19行]天然の植物ホルモンである	生徒にとって理解し難い表現である。 (植物ホルモンの定義が理解し難い。)	3-(3)	
14	36	16 - 17	親と異なる新しい形質をもった変わりものが出現し、その形質が親から子に遺伝することがある。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (文中の親が同じものと誤解する。)	3-(3)	
15	36	18	遺伝子が増えることを突然変異とよび、 [46ページ16～17行]組織培養によって発生する変異を培養変異とよんでいる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (突然変異と培養変異の違いが理解し難い。)	3-(3)	
			[47ページ3～6行]培養変異には、染色体の数に変化が生じた変異と、顕微鏡下ではわからない遺伝子レベルの変異とがある。 [48ページ図13]変異体の出現 2か所			
			[49ページ コラム]突然変異体 [68ページ4～6行]培養変異には、遺伝子や染色体数などの変化による遺伝的な変異のほか、組織培養環境下で起こる一時的な変異もある。			
16	39	6 - 9	1つの個体の中では、器官や組織、細胞が異なっているとしても、DNAの塩基配列は同じであるため、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (1つの個体の全て同じと誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-27		学校 高等学校		教科 農業		種目 植物バイオテクノロジー		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
17	41		クリーンベンチ	相互の関連が適切でない。 (初出に説明がない。)	2-(12)				
18	44	図9	さし木 葉ざし とり木 伏枝とり	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (さし木と葉ざし, とり木と伏枝とりの関係を誤解する。)	3-(3)				
19	45	10	PLB	相互の関連が適切でない。 (初出に説明がない。)	2-(12)				
20	45	15	継代培養	相互の関連が適切でない。 (初出に説明がない。)	2-(12)				
21	46	15 - 16	組織培養によって再生した植物に変異が起これることは、現在、一般的な現象として広く知られている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (必ず変異が起これると誤解する。)	3-(3)				
22	48	17	プロトプラスト	相互の関連が適切でない。 (初出に説明がない。)	2-(12)				
23	48	側注3	変異した組織と正常な組織	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (変異した組織が正常でないと誤解する。)	3-(3)				
24	51	図2	[⑤表面殺菌-I]数秒間 [60ページ11行]30秒～1分間くらい [113ページ図18④]20～30秒浸し	生徒にとって理解し難い表現である。 (数値が異なり理解し難い。)	3-(3)				
25	51	図2	[⑥表面殺菌-II]有効塩素濃度1～3% 3～10分 [60ページ9～10行] (有効塩素濃度1～3%) に3～10分間程度 [110ページ図13⑦]10～20分間	生徒にとって理解し難い表現である。 (数値が異なり理解し難い。)	3-(3)				
			[117ページ図25⑤]有効塩素濃度0.5～2%						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-27		学校 高等学校		教科 農業		種目 植物バイオテクノロジー		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
26	52	側注1	寒天のように、水などの溶液を含んで固化したものをゲルとよび、このような性質をもった物質を固化剤またはゲル化剤という。	生徒にとって理解し難い表現である。 (寒天, ゲル, 固化剤, ゲル化剤の関係が理解し難い。)	3-(3)				
27	55	7	培地支持剤などに大別される(図7)。 [図7]培地固化剤・支持体	表記が不統一である。	3-(4)				
28	56	側注3	オートクレーブ	相互の関連が適切でない。 (初出に説明がない。)	2-(12)				
29	57	側注1	糖類については、基本培地の成分に含めないのがふつうである。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (糖類だけと誤解する。)	3-(3)				
30	61	図13	全体	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)				
31	62	15 - 17	培養容器の栓を開閉するときも、そのつど、栓を70%エタノールを含ませたガーゼでふき、培養容器の口を軽く火炎滅菌する。	作業の安全について適切な配慮がされていない。 (安全性に関する説明がない。)	固有 1-(1)				
32	69	表5	全体	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)				
33	69	図22	⑦しばらくして接種液を洗い流す⇒病徴の有無を確認。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (すぐに病徴の有無を確認できると誤解する。)	3-(3)				
34	75	8	マグネット(かくはん子)	生徒にとって理解し難い表現である。 (マグネットが理解し難い。)	3-(3)				
35	75	図13	写真	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

9 枚中 5 枚目

受理番号 102-27		学校 高等学校		教科 農業		種目 植物バイオテクノロジー		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
36	78	図20	写真	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
37	79	図24	写真	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
38	81	10 - 11	衣服に付着しないように注意する。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (衣服だけと誤解する。)	3-(3)				
39	81	17	普通物	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
40	81	表1	クロロホルム, 硫酸銅, 硫酸マンガン の毒・劇・危の分類	誤りである。	3-(1)				
41	82	脚注1	Google Scholar	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
42	92	9	狩野培地(H培地, 表4)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (狩野培地, H培地の組成が表4と誤解する。)	3-(3)				
43	92	図16	全体	生徒にとって理解し難い図である。 (月数0の始点が理解し難い。)	3-(3)				
44	95	11 - 14	種子をさやからとり出し, 清潔な室内 で風乾させてから, 葉包紙に包み, シ リカゲルのはいったサンプルびんの中 に入れて数時間乾燥させる。その後, 5℃程度の冷蔵庫に入れて保存する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (葉包紙に包み, サンプルびんの中に入れ冷蔵庫に 入れて保存するのに, 再度, 種子を葉包紙で包み, 滅菌ペトリ皿に入れることが理解し難い。)	3-(3)				
			[図22]①種子は葉包紙で包み, 滅菌ペ トリ皿に入れる。						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

9 枚中 6 枚目

受理番号 102-27		学校 高等学校	教科 農業	種目 植物バイオテクノロジー	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
45	96	12	フラスコ外へ植え出せる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文として理解し難い。)	3-(3)
46	104	表1	[カーネーションエッチドリリングウイルス (CaERV)]壊疽性の斑点。 [108ページ表5]壊疽斑	生徒にとって理解し難い表現である。 (壊疽性の斑点と壊疽斑の違いが理解し難い。)	3-(3)
47	108	図10	初代培養 [128ページ図41]初代培養	表記が不統一である。 ([104ページ図5]準備 初代培養と異なる。)	3-(4)
48	116	7 - 8	日本では、表12のようなウイルスが確認されている。これらが重複感染すると、ブドウの品質や収量が著しく低下する②。 [側注2]巨峰などにおける赤熟れが問題となっている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (赤熟れがウイルスによってのみ発生していると誤解する。)	3-(3)
49	116	側注1	Vitis vinifera, V. ×labruscana	不正確である。	3-(1)
50	116	表12	全体	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)
51	122	11 - 12	増殖したECの懸濁液を、1mmのメッシュに通してECの大きさをそろえる [図31]⑦ECの大きさをそろえる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (1mmのメッシュを通すだけでECの大きさがそろえることが理解し難い。)	3-(3)
52	128	側注1	Vaccinium corymbosum	不正確である。	3-(1)
53	134	側注1	つぼみの内部は、空気にさらされていない	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (空気にさらされていないと誤解する。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

9 枚中 7 枚目

受理番号 102-27		学校 高等学校		教科 農業		種目 植物バイオテクノロジー		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
54	140	8 - 9	パーミキュライトを入れたビニルポットに移植する。 [図13○21]全体	生徒にとって理解し難い表現である。 (図の鉢がビニルポットということが理解し難い。)	3-(3)				
55	141	図3	1細胞期 2細胞期	相互の関連が適切でない。 (初出に説明がない。)	2-(12)				
56	141	図3	分裂期 [146ページコラム]2細胞分裂期	表記が不統一である。	3-(4)				
57	144	15	止め葉 (2か所) [17行]止め葉 [図8]止め葉	不正確である。	3-(1)				
58	144	15 - 16	止め葉と上位第2葉の葉舌とのあいだの長さ	誤りである。 (葉舌)	3-(1)				
59	144	図8	①葉耳の指示位置 2~5cmの引き出し線の指示位置	誤りである。 (葉耳の指示位置 2~5cmの引き出し線の指示位置 止め葉に葉耳がない。)	3-(1)				
60	144	図8	②写真	生徒にとって理解し難い写真である。 (葉しょうと幼穂の写真であることが理解し難い。)	3-(3)				
61	155	2 - 3	雑种植物を作成するためには、少なくとも50万個/mL程度のプロトプラストが必要である。	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)				
62	157	7 - 8	遺伝子の本体であるDNAの塩基配列(遺伝情報は、すべての生物で共通なので、	生徒にとって理解し難い表現である。 (塩基配列が共通が理解し難い。)	3-(3)				
63	158	表2	耐乾燥性 2か所 [183ページ図2]耐乾燥性	不正確である。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

9 枚中 8 枚目

受理番号 102-27		学校 高等学校		教科 農業		種目 植物バイオテクノロジー		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
64	168	8 - 9	多糖類のセルロースやヘミセルロース [173ページ7～8行]デンプン, セルロース, ヘミセルロースなどの糖類	表記が不統一である。 (多糖類と糖類が表記が不統一)	3-(4)				
65	168	表1	全体	最新のものを用いておらず, 学習上の支障を生ずるおそれがあり, また, 学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(11)				
66	175	側注2	メタン生成菌による有機物の分解量は, 地球上でのバイオマス生産量の5～10%にも達するといわれている。	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(10)				
67	179	図1	花手毬コーラルピンク	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
68	181	図6	センノウ (絶滅危惧植物)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (センノウが絶滅危惧種と誤解する。)	3-(3)				
69	183	11	20世紀にはいつてからは, 栽培面積は増加していない(図1)。 [12～13行]1940～60年代の「緑の革命」による大幅な穀物の増収があったが, その後は増加していない。	相互の関連が適切でない。 (図1のデータと異なる。)	2-(12)				
			[図1]全体						
70	183	図1	全体	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)				
71	183	図2	写真	生徒が誤解するおそれのある写真である。 (隔離圃場外での栽培が始まっていると誤解する。)	3-(3)				
72	184	図3	全体	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

9 枚中 9 枚目

受理番号 102-27		学校 高等学校	教科 農業	種目 植物バイオテクノロジー	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
73	184	側注1	土壌細菌であるバチルス・チューリンゲンシス	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (土壌にのみ生息していると誤解する。)	3-(3)
74	186	図7	カンプトテンシン	誤りである。 (カンプトテンシン)	3-(1)
75	201	表 I	[NAA 9]48.339 [2,4-D 7]36.193 [2,4-D 8]31.668 [カイネチン 5]23.231	誤りである。	3-(1)
76	201	表 II	[BA 9]1.0273	誤りである。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-28		学校 高等学校		教科 農業		種目 食品製造		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	表見返し2		[2 穀類:ムギ]小麦 六条大麦 二条大麦	不正確である。 (作物名の表記として不正確。)	3-(1)				
2	表見返し2		[6 豆類:ベニバナインゲン]紫花豆	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (品種名と誤解する。)	3-(3)				
3	表見返し2		[7 いも類:ジャガイモ]男爵いも [8 いも類:サツマイモ]金時	不正確である。 (品種名として不正確。)	3-(1)				
4	表見返し2		[9 野菜:トマト]桃太郎 フルティカ アイコ	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
5	10	5 - 6	加工食品も、納豆や豆腐、野菜や魚の漬物や乾物、アブラナの種子を絞った菜種油などであった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (菜種油を主に食用に利用していたと誤解する。)	3-(3)				
6	10	5	漬物 [3ページ左段]漬け物	表記が不統一である。	3-(4)				
7	11	図4	[1980機械]68.3 [1990]金属(13.8)以外の全データ [2010]全データ [2017食品]35.4 [2017金属](13.3)	誤りである。	3-(1)				
8	17	写真	写真 [21ページコラム]長期保存食の写真 [37ページ]写真 [72ページ図1]写真 [216ページ図1]写真	特定の営利企業、商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
9	20	表2	油脂分含有量	生徒にとって理解し難い表現である。 (含有量を%で示すことが理解し難い。)	3-(3)				
10	21	コラム	[パンの缶詰]2年間の長期保存 [長期保存食]米国で、宇宙食をもとに開発された製品で、クラッカーやシチューなどの品目がある。調理直後に凍結乾燥(→p.43)処理をして、窒素を	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (パンの缶詰や長期保存食の保存期間について誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-28		学校 高等学校		教科 農業		種目 食品製造		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			封入し、缶に密封する。常温保存で25年間品質が変わらず、熱湯を加えるだけで食べられるため、自治体の災害用備蓄食としても採用されている。						
11	22	17 - 18	[マーガリン]大豆油や菜種油などの植物性油脂が60%以上を占めている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。(マーガリンの油脂含有率を誤解する。)	3-(3)				
12	23	21 - 22	腸内乳酸菌(ビフィズス菌)	生徒が誤解するおそれのある表現である。(腸内乳酸菌をビフィズス菌というと誤解する。)	3-(3)				
13	24	20	ペクチン [143ページ 3行]ペクチン(→p. 24表1) [143ページ 7~12行]ペクチン デンプンやセルロースなどと同じ多糖類の	相互の関連が適切でない。(初出に説明がない。)	2-(12)				
			一種で、植物の細胞と細胞を接着させている。未熟な果実では、ペクチンは不溶性で、成熟に従って水に溶ける状態になり、接着力が小さくなるため、果肉が軟化する。そして、この水溶性						
			のペクチンが、糖や酸の作用によってゲル化する。 [144ページ 側注1]ペクチンの主体は、ポリガラクトロン酸であり、メチルエステル化度合いの違いにより、高メ						
			トキシペクチンと低メトキシペクチンに大別される。前者は、糖と酸によってゲル化するが、後者はカルシウムの存在によってゲル化をする。						
14	24	表1	食物繊維 オリゴ糖	生徒が誤解するおそれのある表現である。(オリゴ糖は食物繊維と誤解する。)	3-(3)				
15	26	2 - 3	ヒトの生命維持に必要な水素・炭素・窒素・酸素以外の元素を無機質という。	生徒が誤解するおそれのある表現である。(無機質が人の生命維持に必要ないと誤解する。)	3-(3)				
16	28	19 - 20	一般に、生物が生育する過程で、各種の栄養成分から生体成分を合成したり、エネルギーをとり出したりする営みを代謝という。 [31ページ側注1]代謝とは生体内で起	生徒にとって理解し難い表現である。(代謝の説明が異なり理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-28		学校 高等学校		教科 農業		種目 食品製造		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			こるすべての化学反応のことである。						
17	28	側注4	グルタミン酸が多数結合したポリグルタミン酸に、フルクタンという多糖が結合した化学構造をもつ。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ポリグルタミン酸に、フルクタンが結合して糸状の粘質物質になると誤解する。)	3-(3)				
18	34	11 - 13	幼児に多いアトピー性皮膚炎のアレルゲンは、おもに食物に含まれるタンパク質であることが知られている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (アトピー性皮膚炎が食物アレルギーの一種であると誤解する。)	3-(3)				
19	35	16 - 18	酒米は、…心白とよばれるデンプンに富んだ部分をもっており、しっかりと精米することができる	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (酒米について誤解する。)	3-(3)				
20	35	表12	純米大吟醸酒 純米吟醸酒	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (純米酒の区分に純米大吟醸酒と純米吟醸酒がなく純米酒でないと誤解する。)	3-(3)				
21	37		食品は、放置すると時間の経過とともに劣化し、味覚や栄養価が低下し、	生徒にとって理解し難い表現である。 (味覚が低下しが理解し難い。)	3-(3)				
22	39	11 - 12	セイヨウナシやモモなどの果実を中心に行われる追熟は、ペクチナーゼの働きを利用した管理である(図4)。 [図4]セイヨウナシの糖分含量の変化	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ペクチナーゼの働きで糖分含量が変化すると誤解する。)	3-(3)				
23	41	図2	全体 [42ページ図3]全体 [44ページ図7]全体 [44ページ図8]全体 [45ページ図10]全体	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)				
			[47ページ表5]全体 [48ページ表6]全体 [61ページ図1]全体 [64ページ表3]全体 [133ページ表6]全体						
			[158ページ図1]全体 [174ページ図2]左図 [174ページ図2]中央図 [203ページ図4]食酢データ [217ページ図3]全体						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

22 枚中 4 枚目

受理番号 102-28		学校 高等学校		教科 農業		種目 食品製造		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			[217ページ図4]全体 [217ページ図5]全体 [217ページ図6]全体						
24	48	図13	全体	生徒にとって理解し難い図である。 (浸透圧の計算条件が示されておらず理解し難い。)	3-(3)				
25	52	図2	2017年	不正確である。	3-(1)				
26	54	図7	全体	生徒にとって理解し難い図である。 (破線と実線の違いが理解し難い。)	3-(3)				
27	54	図8	日本の海空港の検疫所の図中の検疫所の数 検疫所32海空港 [67ページ7～8行]検疫所であり、全国の港や空港の31か所に設置されている	相互に矛盾している。	3-(1)				
			。						
28	55	側注3	安全性が確認された物質のみ使用でき、それ以外は原則使用を禁止する制度。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ポジティブリスト制度を誤解する。)	3-(3)				
29	57	図3	全体	誤りである。 (年次)	3-(1)				
30	57	図5	全体	不正確である。 (合計が100%ではない。)	3-(1)				
31	59	15 - 16	ギランバレー症候群	不正確である。 (ギランバレー)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-28		学校 高等学校		教科 農業	種目 食品製造	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
32	59	側注4	1996年, 0157によって発生した食中毒では, 発症者約9,500名, 死者12名にも及んだ。	不正確である。 (約9,500名)	3-(1)	
33	59	側注4	焼肉店で生肉メニューを食べ,	生徒にとって理解し難い表現である。 (生肉メニューを食べが理解し難い。)	3-(3)	
34	59	側注4	2011年には, 焼肉店で生肉メニューを食べ, 5名が死亡する事件が発生した。	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	
35	60	表5	[2行目]発生場所 中国地方, 患者数(死者数)12,344(130) [3行目]患者数(死者数)111(42) [4行目]患者数(死者数)156 [5行目]発生年月1964 7	誤りである。 (発生年月, 発生場所, 患者数(死者数))	3-(1)	
			[6行目]患者数(死者数)32(5) [7行目]発生年月1968 6, 患者数(死者数)約14,000(51)			
36	60	表5	[3行目]発生年月1956 5 [4行目]発生年月1963 [6行目]発生年月1965 5	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (化学性食中毒が発生した年月と誤解する。)	3-(3)	
37	61	17 - 19	日本では, すべての食品に対して「総アフラトキシン(アフラトキシンB1, B2, G1およびG2の総和)が10 $\mu$ g/kgを超えてはならない」としている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (乳もすべての食品に含まれると誤解する。)	3-(3)	
38	62	図3	要因別の苦情件数(左)と業種別などによる苦情件数(右)(2017年度)	誤りである。 (2017年度のデータではない。)	3-(1)	
39	63	10	環境中に排出された有害物質は気流によって拡散し,	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (有害物質は気流だけで拡散すると誤解する。)	3-(3)	
40	63	12 - 14	農薬や有害金属, ダイオキシン類(表2)やトリブチルスズなどの汚染物質は, 食物連鎖によって濃縮され(生物濃縮),	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全ての農薬が生物濃縮されると誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-28		学校 高等学校		教科 農業		種目 食品製造		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
41	63	側注1	難分解性であるため生物濃縮され、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (難分解性であることが生物濃縮される条件と誤解する。)	3-(3)				
42	64	図7	ヒスタミン食中毒の発生状況(2008年)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (2008年の発生状況と誤解する。)	3-(3)				
43	65	側注3	終宿主	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
44	65	図11	食物アレルギーの原因食品の構成割合 (2015年度) その他5.3% 不明5.4%	誤りである。 (2015年度 その他5.3% 不明5.4%)	3-(1)				
45	65	図11	消費者庁「平成27年度即時型食物アレルギーによる健康被害に関する全国実態調査」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (出典名と誤解する。)	3-(3)				
46	65	表4	サナダムシ 無鉤条虫 有鉤条虫	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (サナダムシ, 無鉤条虫, 有鉤条虫の関係を誤解する。)	3-(3)				
47	65	表4	[アニサキス 終宿主]ヒト [クドア・セブテンブクタータ 終宿主]ヒト	誤りである。	3-(1)				
48	66	3 - 5	農薬の使用目的は、農作物を害虫や病原微生物から保護し、収量を高めることである。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (農薬の使用目的を誤解する。)	3-(3)				
49	66	コラム	「有機農産物」とは、農薬・化学肥料を、は種また植付け前2年以上使用せず、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (永年作物も2年以上と誤解する。)	3-(3)				
50	66	表5	農薬にかかわる法律 [表] 法律 残留基準 登録保留基準 農薬安全使用基準	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (法律の名称と誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

22 枚中 7 枚目

受理番号 102-28		学校 高等学校		教科 農業		種目 食品製造		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
51	66	表6	全体 [70ページ表3]全体 [93ページ表4]全体 [122ページ図2]全体 [135ページ図15]全体	学習上必要な出典，年次が示されていない。	2-(11)				
			[140ページ図9]全体 [141ページ図12]全体 [147ページ表4]全体 [147ページ図27]全体 [160ページ表1]全体						
			[174ページ図1]全体 [196ページ図2]全体						
52	67	側注3	消費者情報課・食品表示課	誤りである。	3-(1)				
53	68	図1	食品衛生法大改正の年次 ポリソルベートなどの指定の年次	誤りである。	3-(1)				
54	68	図1	AF2・サイクラミン酸塩・紫一号・ズルチンを削除 OPP・TBZの指定 過酸化水素・BHA・臭素酸カリウムに発がん性	生徒にとって理解し難い図である。 (指示が複数年に及ぶことが理解し難い。)	3-(3)				
55	68	図1	2) オルトフェニルフェトル	誤記である。	3-(2)				
56	70	14 - 15	食品添加物は，…毒性や副作用があるものは指定されない。	誤りである。 (「毒性や副作用があるものは指定されない」が誤り。)	3-(1)				
57	73	18 - 21	1) 外装：商品を輸送する目的で，個装や内装された製品を箱などに詰めたもの。 2) 内装：製品1～2個以上を包装したものの。	不正確である。 (JISの説明と異なる。)	3-(1)				
			3) 個装：個々の製品を包装したものの。 [側注1]できた製品を箱などに詰めること。						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-28		学校 高等学校		教科 農業		種目 食品製造		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
58	73	表1	産業包装 2か所	誤りである。 (JISの記載にない。)	3-(1)				
59	74	11	1814年, プリキ缶が開発	不正確である。	3-(1)				
60	75	9 - 11	紙容器の種類には, 牛乳パックのような四面体の密閉容器などがあるが, 高温殺菌できないものが多く, 無菌室内において自動充てん包装される。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (紙容器のものは全て無菌室内で包装されると誤解する。)	3-(3)				
61	76	18 - 20	缶本体とふたとを第一巻き締めと第二巻き締めの2工程でかみ合わせることから, 二重巻き締めとよんでいる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (二重巻き締めを誤解する。)	3-(3)				
62	78	10 - 11	真空包装 プラスチックの袋に食品を詰め, 真空ポンプで酸素を除去	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (プラスチックの袋だけを使い, 酸素だけを除去すると誤解する。)	3-(3)				
63	78	14 - 15	ガス置換包装 食品の品質保持に悪影響を及ぼす酸素を, 窒素ガスN <sub>2</sub> や二酸化炭素ガスCO <sub>2</sub> に置換して包装する方法である(表7)。 [表7 ガス組成] 弁当O <sub>2</sub> +CO <sub>2</sub>	生徒にとって理解し難い表現である。 (表7で酸素を封入する理由の説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
			はまち(生・冷凍) O <sub>2</sub> +CO <sub>2</sub> +N <sub>2</sub> まぐろ(生・冷凍) O <sub>2</sub> +CO <sub>2</sub>						
64	79	8	さまざまな法律が施行されている①。 [側注1]循環型社会形成推進基本法(2000年) 食品リサイクル法(2000年)	不正確である。 (2000年)	3-(1)				
65	79	15 - 17	この法律では, 容器包装資材を製造している業者と中身業者のそれぞれに対して, とり扱っている品目と売上高によって, リサイクルの義務を課している③。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「リサイクルの義務を課している」と側注3の関係が理解し難い。)	3-(3)				
			[側注3]一部の企業では, すでに会社全体として, とり組んでいる。						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

22 枚中 9 枚目

受理番号 102-28		学校 高等学校		教科 農業		種目 食品製造		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
66	79	図16	重量	不正確である。	3-(1)				
67	81	側注2	Standard	誤記である。	3-(2)				
68	84	14 - 15	現在私たちは、日々食物として摂取するエネルギーの約40%を米や小麦などの穀類から得ている。	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)				
69	84	図1	日本食品標準成分表2015年版(七訂)	不正確である。 (小麦の炭水化物72.1とタンパク質10.8は日本食品標準成分表2015年版(七訂)のデータではない。)	3-(1)				
70	84	図1	米・小麦・トウモロコシ・ソバの成分は、それぞれ脱穀・乾燥後の原穀のものである。	不正確である。 (ソバの成分は、…脱穀・乾燥後の原穀のもの)	3-(1)				
71	84	側注1	世界の総生産量(米国農務省穀物等需給報告2016年) 米：4億9094万t 小麦：7億5641万t トウモロコシ：11億2330万t	不正確である。 (資料に該当データがない。)	3-(1)				
72	84	図1	[トウモロコシ]穂 [ソバ]穂	不正確である。	3-(1)				
73	85	5 - 7	そのため、穀粒を削ったり、粉にして食用とする。この過程では、変質の原因となる酵素類もとり除かれるため、貯蔵性が向上する。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (粉にすると酵素類がとり除かれると誤解する。)	3-(3)				
74	85	8	稲作の起源は中国の長江流域と考えられており、 [12～13行]コムギの栽培は、約1万年前の中央アジアの高原地帯を起源とすると考えられている。	一面的な見解を十分な配慮なく取り上げている。	2-(6)				
			[18～19行]トウモロコシは、中央アメリカを起源とすると考えられている。						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-28		学校 高等学校		教科 農業		種目 食品製造		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
75	85	11	6%ほどであるが良質なタンパク質を含んでいる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「良質なタンパク質」の説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
76	85	18 - 19	トウモロコシは…。紀元前5000年頃大規模に栽培されるようになり、	不正確である。 (紀元前5000年頃)	3-(1)				
77	85	27 - 31	トウモロコシは…。また、近年では病害虫への抵抗性や、除草剤への耐性をもつように遺伝子組換えされた品種が広がりつつある。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (トウモロコシに病害への抵抗性もつように遺伝子組み換えされた品種が広がりつつあると誤解する。)	3-(3)				
78	85	28	雑種強勢② [側注2]両親のいずれよりも大きさや病気・環境に対する抵抗性、あるいは生産力などの点ですぐれた形質を示す現象。	生徒にとって理解し難い表現である。 (なぜ「雑種」というかの説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
79	86	6 - 8	日本で栽培されているジャポニカ種は95%がうるち米で、その他はもち米と少々の酒米である。	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)				
80	86	10	胚芽 [図3]胚芽 [87ページ図5]胚芽 [88ページ5行]胚芽 [88ページ図7]胚芽	不正確である。	3-(1)				
			[93ページ側注4]胚芽						
81	86	図4	胚乳 [88ページ図8]胚乳 2か所	誤りである。 (日本食品標準成分表2015年版(七訂)にデータがない。)	3-(1)				
82	86	表1	インディカ種：23～26% ジャポニカ種：18%前後	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)				
83	86	表1	[もち米 デンプン中のアミロース含量]0～2%と、非常に少ない。 デンプンはアミロペクチンからなる。	相互に矛盾している。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

22 枚中 11 枚目

受理番号 102-28		学校 高等学校		教科 農業		種目 食品製造		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
84	87	コラム	有色米 玄米に独特の色や香りをもつ。黒米(紫米, 紫黒米), 赤米, 緑米, 香り米などがある。古代米ともよばれる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (有色米, 香り米, 古代米の関係を誤解する。)	3-(3)				
85	88	5	外皮 2か所 [8行]外皮 [図7]外皮 [89ページ8行]外皮 [89ページ10行]外皮	不正確である。	3-(1)				
			[89ページ図12]外皮 2か所 [93ページ側注4]外皮						
86	89	5	無機質が多く含むため,	誤記である。	3-(2)				
87	89	側注1	製粉のさい, 小麦粒から胚乳と胚芽を分けた残りの部分。 [7~9行]粉になりやすい胚乳部と, 丈夫で粉になりにくい外皮の性質を利用して, 小麦粉を得る工程である。粒全	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ふすまという部位があると誤解する。小麦粒, 小麦粉, 外皮, 胚乳, 胚芽, ふすまの関係を誤解する)	3-(3)				
			体を粗砕きしたものをふるってふすまを除き, 胚乳の断片(セモリナ)を分離して粉にする [図10 図中]ふすま [図10 縦軸]ふすま含有率						
88	90	図16	その他 [中力粉]0.3 [強力粉]0.5	誤りである。	3-(1)				
89	92	図20	全体	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)				
90	93	側注3	ライ麦粉は, グルテンを形成しないため, 乳酸菌などの発酵作用を利用してふくらませる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (なぜグルテンを形成しないのに乳酸菌などの発酵作用でふくらむかが理解し難い。)	3-(3)				
91	97	6	容積比 [側注1]容積比	不正確である。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

22 枚中 12 枚目

受理番号 102-28		学校 高等学校		教科 農業		種目 食品製造		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
92	98	上段左	[原料の配合例(2斤)]水 320g [101ページ 実習]水 1340mL	表記が不統一である。	3-(4)				
93	100		[メロンパンの製造 原料の配合例 (約20個分)]パン生地 全体 [メロンパンの製造 ①]卵黄とコンデンスミルクは、事前準備で水に溶いておく。	相互に矛盾している。 (原料の配合例に水がない。)	3-(1)				
94	100	図35	[⑯]丸めとねかし ねかしを行う。	生徒にとって理解し難い表現である。 (ねかしとベンチタイムとの違いの説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
95	100	図35	[⑰]ソフトビスケットの要領	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
96	106	12 - 16	小豆あんの製造は、生あんづくりとあん練りの工程からなる。生あんとは、小豆を煮てやわらかくした砂糖を加える前のあんである。あん練りとは、生あんに砂糖を加えて練り上げる作業で	生徒にとって理解し難い表現である。 (小豆あんの製造、生あんづくり、あん練り、製あんの関係が理解し難い。)	3-(3)				
			ある(図42)。製あんは、豆を煮沸して中のデンプン粒子をα化するとともに細胞内の結着を弱め、あん粒子(細胞)を分離する作業である。						
97	107	図43	[生地づくり]bにイーストパウダーを混ぜ、半分量の水を加え、残りの水を加える。	生徒にとって理解し難い表現である。 (なぜ2回に分けて水を加えるかの説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
98	114	図4	全体	最新のものを用いておらず、学習上の支障を生ずるおそれがあり、また、学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(11)				
99	114	側注1	生の大豆には、タンパク質の分解をさまたげたり、腸粘膜に炎症を起こす原因となる物質(トリプシンインヒビター)が存在する。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (有害成分がトリプシンインヒビターだけと誤解する。)	3-(3)				
100	117		[原料の配合例]微温湯 [⑰]ぬるま湯	表記が不統一である。	3-(4)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

22 枚中 13 枚目

受理番号 102-28		学校 高等学校		教科 農業		種目 食品製造		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
101	118	表3	[絹ごし豆腐]濃い豆乳を、そのまま凝固したもの。	生徒にとって理解し難い表現である。 ([木綿豆腐]「豆乳に凝固剤を加え、」からみてそのまま凝固したものが理解し難い。)	3-(3)				
102	120	側注1	裏ごし [135ページ 11行]裏ごし① [135ページ 側注1]果実やいも類・豆などを、ふるいなどの網目に通し、それらの皮・種子・繊維などを除くこと	相互の関連が適切でない。 (初出に説明がない。)	2-(12)				
			。大量に処理する場合には、裏ごし機(パルパー)が用いられる。						
103	121	図5	石灰水 [原料の配合例]凝固剤(炭酸ソーダ)	生徒にとって理解し難い表現である。 (物質が異なり理解し難い。)	3-(3)				
104	122	7	野菜は、食用として栽培される草本性植物の総称	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (穀類も野菜と誤解する。)	3-(3)				
105	122	14 - 16	糖質が多く、タンパク質や脂質は少ない(図3)。無機質やビタミン、食物繊維の供給源として重要であり、	生徒にとって理解し難い表現である。 (図3に糖質、タンパク質、脂質、無機質がなく理解し難い。)	3-(3)				
106	122	16 - 17	日本人は、ビタミンCの約65%、食物繊維の約40%を野菜から摂取している。	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)				
107	123	9 - 11	アントシアニンの色調は、pHの影響を受けて赤色(酸性)→紫色(中性)→青色(アルカリ性)に変化するが、金属によって安定するものが多い。	生徒にとって理解し難い表現である。 (アントシアニンの色調が金属によって安定するが理解し難い。)	3-(3)				
108	123	図3	[炭水化物 β-カロテン ビタミンC] 横軸の値	通常の方法に従って記載されていない。 (横軸の最大値以上の値がある。)	固有 3-(1)				
109	124	図5	相対的呼吸速度 相対的日持ち	生徒にとって理解し難い表現である。 (何に対する相対値かの説明がなく理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

22 枚中 14 枚目

受理番号 102-28		学校 高等学校		教科 農業		種目 食品製造		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
110	125	11	約5400t(2017年)の乾燥野菜が製造されている。	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)				
111	126	図10	三升漬 千葉県	生徒が誤解するおそれのある図である。 (三升漬が千葉県特産と誤解する。)	3-(3)				
112	127	表3	[濃度3~5]乳酸菌を初め、各種の微生物が増殖する。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (初めに乳酸菌が増殖すると誤解する。)	3-(3)				
113	128 - 129		梅漬・梅干の製造 全体	生徒が誤解するおそれのある表現である。 ([4 野菜類の加工]の項目の中にあり、ウメが野菜類と誤解する。)	3-(3)				
114	135	13 - 15	トマトピューレー トマトを破碎し、裏ごししたものを無塩のまま2.5~3倍に濃縮し、無塩可溶性固形分を8%以上24%未満としたもの。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (トマトピューレーは無塩のものだけと誤解する。)	3-(3)				
115	135	16 - 17	トマトペースト トマトピューレーをさらに濃縮して、無塩可溶性固形分を24%以上とし、食塩を加えたもの。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (トマトペーストには食塩を加えなければならないと誤解する。)	3-(3)				
116	135	図16	出典 2016年度	誤りである。	3-(1)				
117	135	側注1	裏ごし機(パルパー) [136ページ図17]粗びき パルパー 皮や種子など 裏ごし フィニッシャー 繊維など 製造工場における粗びき・裏ごし 工	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が異なり理解し難い。)	3-(3)				
			場ではチョッパー・パルパー・フィニッシャーで破碎・裏ごしを行い、皮や種子をとり除く。						
118	137	図1	[温州ミカン]じょうのう 矢印の指示位置	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (じょうのうを誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

22 枚中 15 枚目

受理番号 102-28		学校 高等学校		教科 農業		種目 食品製造		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
119	137	図2	日本におけるおもな果実の生産量の推移 [縦軸]生産量	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (生産量を収穫量と誤解する。)	3-(3)				
120	137	表1	[果実の分類]果実的野菜 [138ページ図3]メロン [139ページ図6]イチゴ [140ページ図9]イチゴ [140ページ13~16行]スイカの果肉の	生徒が誤解するおそれのある表現である。 ([5 果実類の加工]の項目の中にあり、果実的野菜が果実類と誤解する。)	3-(3)				
			赤色は…スイカでは…イチゴの果皮には、 [141ページ図12]イチゴ スイカ メロン [144~145ページ]イチゴジャムの製造						
			全体						
121	137	表1	総務省「日本標準食品分類」	誤りである。	3-(1)				
122	138	図3	[リンゴ β-カロテン]22	誤りである。	3-(1)				
123	138	図3	[炭水化物]横軸の値	通常の方法に従って記載されていない。 (横軸の最大値以上の値がある。)	固有 3-(1)				
124	138	側注2	グルコースは約0.6、フルクトースは約1.2、ソルビトールは約0.6である。	生徒にとって理解し難い表現である。 ([139ページ]図5からフルクトースは約1.2が理解し難い。)	3-(3)				
125	139	5 - 7	リンゴ・モモ・バナナ・ナシではリンゴ酸の比率が高く、ブドウでは酒石酸が多い(図6)。	相互の関連が適切でない。 (図6にモモがない。)	2-(12)				
126	140	4 - 5	温州ミカンでは、糖度が11° Bxで、酸度が0.9%付近であれば、食味が良好である(図9)。	相互の関連が適切でない。 (図9から食味が良好かどうかはわからない。)	2-(12)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-28		学校 高等学校		教科 農業		種目 食品製造		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
127	142	図13	日本の果実缶詰の生産量（2017年度）	不正確である。 （2017年度）	3-(1)				
128	142	図14	日本のジャム生産量の割合（2017年）	不正確である。 （2017年）	3-(1)				
129	142	表2	[マーマレード]ゼリー中に、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （マーマレードの製造法を誤解する。）	3-(3)				
130	142	表3	1 果汁の種類と含有量による分類 [果実ジュース]果汁100%のもの。 [果実ミックスジュース]果汁100%としたもの。 [果粒入り果実ジュース]100%果汁。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （含有量を%と表記することおよびジュースに添加物は一切不可であると誤解する。）	3-(3)				
			[果実・野菜ミックスジュース]果汁と野菜汁を混合し、100%としたもの。 ただし、果汁の割合が50%を上回るもの。						
131	148	22	プレート殺菌機	生徒にとって理解し難い表現である。 （説明がなく理解し難い。）	3-(3)				
132	149	側注3	ジュース用に用いられる品種は、恵、紅玉、ふじなどである。 [150ページ図30]ブドウジュース製造用品種 コンコード マスカットベリーA キャンベルアーリー ナイアガ	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （ジュース用に栽培されていると誤解する。）	3-(3)				
			ラ ネオマスカット [151ページ図31]モモのネクター製造用品種 大久保 白鳳						
133	150	13 - 26	ブドウジュース製造のポイント 選果・洗浄→破碎→搾汁→ペクチンの分解→ろ過→殺菌→果汁 [151ページ7～22行]モモのネクター製造のポイント 選果・洗浄→はく皮→	生徒にとって理解し難い表現である。 （脱気不要の説明がなく理解し難い。）	3-(3)				
			半割り・除核→加熱・裏ごし→充填・打栓→殺菌→製品						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-28		学校 高等学校		教科 農業		種目 食品製造		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
134	151	4 - 6	原料には、香味がすぐれた大久保や白鳳などの白桃が用いられる(図31)。[154ページ2～4行]モモには、白肉種(白桃)と黄肉種(黄桃)とがある。白肉種は、肉質がやわらかく、香気が	相互の関連が適切でない。 (初出に説明がない。)	2-(12)				
			すぐれているが、輸送中や加工中に損傷しやすい。						
135	153	参考	JASでは、5号缶の内容総量は305gで、固形量は175g以上である。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全ての5号缶の規格と誤解する。)	3-(3)				
136	155	参考	3) 二酸化炭素法：渋柿10kgをポリエチレン袋に入れ、ドライアイス150gを入れて、袋の口をしぼる。	作業の安全について適切な配慮がされていない。 (袋にドライアイス150gを入れて、すぐに袋の口をしぼると袋が破裂する危険性がある。)	固有 1-(1)				
137	156	2 - 4	アメリカのカリフォルニア州が最大の生産地である。	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)				
138	156	4 - 5	原料品種には種なしのトンプソンのほか、マスカット・サンタナが用いられる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (他の品種は原料にしていけないと誤解する。)	3-(3)				
139	156	26	干しぶどうの水分含量は15.5%で、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全ての干しぶどうで15.5%と誤解する。)	3-(3)				
140	158	側注4	シイタケに多く含まれるうま味成分	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (生シイタケに多く含まれると誤解する。)	3-(3)				
141	160	5 - 6	精肉だけでなく、加工品の製造にも適し、約30%が加工用の主原料となっている。	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)				
142	160	19	通常の冷蔵で豚肉は1～2週間まで貯蔵可能で、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (一般家庭で貯蔵可能と誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-28		学校 高等学校		教科 農業	種目 食品製造	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
143	161	図5	かた, 切断線, ロース・ばらの位置 [162ページ2~4行]通常, 豚肉は, ヒレ・ロース・かた(うで)・ばら・ももに分ける(図7)。なお, さらにロースを背ロースとかたロースに, もも	生徒にとって理解し難い表現である。 (ロースとかた(うで)の分割方法が理解し難い。)	3-(3)	
			をうちもも・そとももなどに, 分割することもある。 [162ページ図7]かたロース, かた(うで), 背ロースの区分け			
144	161	図6	②ヒレ肉	相互の関連が適切でない。 (初出にどの部位であるかの説明がない。)	2-(12)	
145	171	コラム	北ヨーロッパや中近東・中南米では, 丸焼きや二つ割りであぶり焼きにして食べることが多いので, 1.5kg前後の小型鶏を使う。イギリスや南ヨーロッパでは, 煮込み料理用に2kg前後のも	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(10)	
			のを, 米国では, フライドチキン用に1.8kg前後ものを多く使う。日本では, 切り身にすることが多いので, 切り分けしやすい大きめの2.8kg前後のものを使う。			
146	174	図3	[カルシウム ビタミンC カリウム] 横軸の値	通常の方法に従って記載されていない。 (横軸の最大値以上の値がある。)	固有 3-(1)	
147	174	図3	糖質 牛乳1本(200mL)	誤りである。 (糖質と牛乳200mL当たりの値が日本食品標準成分表2015年版(七訂)にない。)	3-(1)	
148	175	側注2	カゼインの熱凝固には, 100℃2時間, 135℃1時間, 150℃3分の処理が必要である。	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	
149	176	6	1日当たりの泌乳量は20~25kgである。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (現在の泌乳量を誤解する。)	3-(3)	
150	180	21	[準備]牛乳比重換算表 [30~33行]2)換算表がない場合は, 牛乳の温度を15℃前後にしておいて比重計の目盛りを読み, 次の式で補正した比重を計算する。牛乳の温度が15℃以	相互に矛盾している。 (牛乳比重換算表を準備すると換算表がない場合が相互に矛盾する。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-28		学校 高等学校		教科 農業		種目 食品製造		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			下 比重＝読度-(15-t)×0.2 牛乳の温度が15℃以上 比重＝読度+(t-15)×0.2						
151	183	1	酸乳飲料① 乳酸発酵させた脱脂乳に	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (乳酸発酵させた脱脂乳だけを酸乳飲料と誤解する。)	3-(3)				
152	183	1	酸乳飲料① [側注1]乳等省令では、殺菌乳製品乳 酸菌飲料に分類される。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (酸乳飲料は全て殺菌乳製品乳酸菌飲料に分類されると誤解する。)	3-(3)				
153	183	13	乳酸菌飲料は、ヨーグルトとほぼ同様に脱脂乳を乳酸発酵させ、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (乳酸菌飲料とヨーグルトは脱脂乳だけを乳酸発酵させたものと誤解する。)	3-(3)				
154	191	参考	軽い感じの味になり、低いほど重みのある味になる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (軽い感じの味、重みのある味が理解し難い。)	3-(3)				
155	192	側注1	「殺菌後、ただちに10℃以下に冷却すること」と、定められている。	不正確である。	3-(1)				
156	193	18 - 19	βカロテンで着色し、年間を通して色が一定になるように調整している。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全てのもので年間を通して色が一定になるように調整していると誤解する。)	3-(3)				
157	194	20	全脂粉乳 [194ページ側注2]全脂粉乳	誤記である。	3-(2)				
158	194	20 - 21	脱脂粉乳は約3年、全脂粉乳は6か月の賞味期限をもつ。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全てのものが記載の賞味期限と誤解する。)	3-(3)				
159	194	表12	全体	誤りである。 (練乳を3つに分類することとその名称)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 102-28		学校 高等学校		教科 農業		種目 食品製造		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
160	195	6	乳頭省令	誤記である。	3-(2)				
161	196	7 - 10	日本では、鶏卵の生産量・消費量がともに圧倒的に多く、消費量は年間250～260万tで推移している。その消費のうち、家庭によるものと業務・加工用のものの比率は、ほぼ1:1となっている。	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)				
			る。						
162	198	2 - 5	鶏卵を加熱すると、卵白は58℃で固まり始め、80℃で完全に凝固する。…一方、卵黄は64℃で固まり始め、70℃で完全に凝固する。 [図5]卵黄（65℃前後で凝固しはじめ	生徒にとって理解し難い表現である。 （説明が異なり理解し難い。）	3-(3)				
			る) 卵白（60℃前後で凝固しはじめる）						
163	198	図7	全体	生徒にとって理解し難い図である。 （説明がなく理解しがたい。）	3-(3)				
164	200	中段左	[マヨネーズ]原料の配合例（1人あたり）	生徒にとって理解し難い表現である。 （1人あたりが理解し難い。）	3-(3)				
165	206	図1	x軸の目盛りの数値	通常の方法に従って記載されていない。 （x軸の目盛りの取り方）	固有 3-(1)				
166	209	図10	[盛り]空の麴ぶた [仲仕事]麴ぶたは実ぶた3)に空ぶたをかぶせて、上下と内外の位置を積みかえる。 3)米がはいった麴ぶたを実ぶたという	生徒にとって理解し難い表現である。 （「麴ぶたは…を積みかえる」という主語、述語の関係および空の麴ぶたと空ぶたの関係が理解し難い。）	3-(3)				
			。						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

22 枚中 21 枚目

受理番号 102-28		学校 高等学校		教科 農業		種目 食品製造		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
167	210	図13	y軸の目盛りの数値	通常の方法に従って記載されていない。 (y軸の目盛りの取り方)	固有 3-(1)				
168	210	図15	全体	生徒にとって理解し難い図である。 (Pr, L, C, DF, Sの目盛りの最大値の記載がなく理解し難い。)	3-(3)				
169	210	側注1	自家製みそは、1970年以前にはかなり多く生産されていたが、1990年以降は急激に減少し、現在では、みそ生産量の5%以下である。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (自家製みそを一般家庭で作られていたものと誤解する。)	3-(3)				
170	211	表1	西京白みそ [図16]西京白みそ	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
171	211	表1	栃木みそ 埼玉みそ 福岡みそ 熊本みそ	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (一般的な名称と誤解する。)	3-(3)				
172	214	表2	[うすくちしょうゆ]蒸し米や甘酒をもろみに加えたりして色の濃くなるのをおさえたもの。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (色が濃くなるのをおさえる仕組みを誤解する。)	3-(3)				
173	217	1 - 2	醸造酒 果実などの原料を、そのままあるいは穀物原料を糖化したのち、酵母により発酵させてつくる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文章として理解し難い。)	3-(3)				
174	217	側注1	最も多くの国で生産されている酒は、ビールとワインである。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ビールとワインの生産国数が同じと誤解する。)	3-(3)				
175	222	図11	蒸しから発酵の間の囲み 3段仕込みの拡大図の囲み *1 *1' *2 *2'	生徒にとって理解し難い図である。 (どこが3段仕込みであるか、*1 *1' *2 *2'の意味が理解し難い。)	3-(3)				
176	230	コラム	九州とほぼ同面積のオランダでは、約8割の農家がスマート農業をとり入れており、現在では米国につぐ農産物輸出国となっている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (オランダがスマート農業をとり入れて米国につぐ農産物輸出国になったと誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 検 定 意 見 書

22 枚中 22 枚目

受理番号 102-28		学校 高等学校		教科 農業		種目 食品製造		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
177	231	7	香	誤記である。	3-(2)				
178	236	16 - 17	HACCP(危害分析・重要管理点)	不正確である。 (危害分析)	3-(1)				
179	245	9 - 10	農業高校が行っている商品開発や地域、企業との連携実践、近年注目されている6次産業化や農家レストランなどを紹介する(表5)。 [表5]まごの店(高校生が調理、運営	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (まごの店を農家レストランと誤解する。)	3-(3)				
			するレストラン)						
180	245	表5	全体	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)				
181	249		[耕地白糖]おもにグラニュー糖。 [●ざらめ糖]グラニュー糖 原料糖 [精製糖]●ざらめ糖 [加工糖]ざらめ糖を原料とし	生徒にとって理解し難い図である。 (なぜグラニュー糖が2つ記載されているのかおよび原料糖、ざらめ糖、加工糖の関係が理解し難い。)	3-(3)				
182	252		[ガーリック]ユリ科	誤りである。	3-(1)				
183	252		[その他 オニオン]ユリ科	誤りである。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。